

千葉 ライフ・ライン ニュースレター No.150

【発行】千葉県テレビ伝道協力会
〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2
CCCビル 「千葉ライフ・ライン係」
TEL 043-247-3058 FAX 043-247-3072
E-mail: info@chiba.life-line.tv
ホームページ <http://chiba.life-line.tv/>
郵便振替：00110-8-579669

【協力】財団法人 太平洋放送協会 (PBA)
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台
2-1 OCCビル
TEL 03-3295-4921 FAX 03-3233-2650
E-mail: mail@pba-net.com
ホームページ <http://www.pba-net.com>
でんわ世の光 03-3291-9061

「福音の種蒔き」

日本キリスト教会房総君津教会 牧師 南 純

千葉県にキリストの福音が伝えられて、すでに150年以上になる。千葉県はわが国のプロテスタント伝道発祥の地である横浜と海上交通で結ばれていた関係から、その福音が極めて早くから伝えられてきた。しかし、その割にその後の進展ははかばかしくない。

主イエスの種蒔きのたとえによれば、種の成長を妨げる様々な原因が数え上げられている。道端に落ちて、鳥に食べられた種や石地に蒔かれて枯れてしまった種、あるいは茨などの雑草に覆われてしまった種など、いろいろな原因が指摘されている。実際、伝道の現場に即してみると、思い当たることも少なくない。

しかし、このたとえの要点はそのような困難を数え上げることにはない。伝道の困難を分析することも大事に違いないが、良い地に落ちた種についての約束に目を向けることこそ肝心である。「あるものは100倍、あるものは60倍、あるものは30倍にもなった」とある。福音の種にはそれだけの力と命が秘められているし、それは同時に種蒔く者の信仰であり希望である。

数年前、アメリカのカリフォルニア州の片田舎コーテツの教会を訪ねたが、そこは日本人が移民入植し、荒地を開拓した土地で、今なお交通の不便なところである。第二次世界大戦中は、日本人は収容され、その土地も奪われそうになったとも聞いた。しかし、その地には日系人の教会が建てられ、幾多の苦難を経ながら、今日までその地域の人々の心の拠り所となっている。その教会の別館には「神は愛なり」とともに「涙と共に播くものは、歓喜と共に収穫[かりと]らん。その人は種をたづさへ、涙をながしていでゆけど、束をたづさへ、喜びてかへりきたらん」(詩篇126篇5～6節)と文語体で墨書された垂れ幕が何本も下がっていた。それには開墾に従事した一世たちの労苦と忍耐と信仰が刻み込まれているという思いを実感させられた。私たちも、伝道の困難や障碍を嘆くだけではなくて、こうした先人たちの労苦と信仰にじっくり学びたいものである。

お茶の間に福音!

チバテレビ土曜あさ7時、心をいやす30分「ライフ・ライン」

ご家族でお楽しみ下さい。